

## 平成30年度 民間技術発表会(第1回)を開催します

仙台港湾空港技術調査事務所では、民間事業者が開発した新技術等を東北の港湾・空港整備に有効活用することを目的に、職員と民間事業者の方との意見交換の場として、民間技術発表会を開催します。

当発表会は、平成16年度から開催しており、これまでに延べ159の技術が発表されております。

今回、以下の5つの技術を発表しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時:平成30年7月23日(月)13時30分～16時00分(受付開始:13時から)

2. 開催場所:国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 会議室  
(仙台市青葉区本町3-1-1 仙台合同庁舎B棟9F)

### 3. 発表論題

#### 1) SLJスラブ

プレキャスト床版の接合部にエンドバンド鉄筋を用いることで、施工性が優れ、継手長の短縮や床版厚の低減を図ることができる工法。

#### 2) CPG工法

極めて流動性の低いモルタルを地盤中に静的に圧入して固結体を造成し、この固結体による締め効果で周辺地盤を圧縮する工法。

#### 3) 次世代浚渫システム「TOP SYSTEM-Auto」

ラダーの深度を自動制御し、浚渫状況をリアルに『見える化』することで、高い精度で効率的な浚渫が可能となるシステム。

#### 4) 水中3Dスキャナーによる水中可視化システム「i-UVS」

水中3Dスキャナー(音響機器)を用いた水中構造物、底面形状を計測するシステム。濁水中や水深40m以深でも形状確認可能な技術。

#### 5) 拡張現実(AR)を用いた水中可視化システム『Beluga-AR』

3Dソナーの映像と3次元モデルを組み合わせ、水中部の計測結果をリアルタイムに可視化できるシステム。

### 4. 発表要領

発表時間は1技術あたり30分程度

<発表記者會:宮城県政記者會、東北電力記者會、東北専門記者會>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-1-35 三共仙台東ビル7F

副 所 長 工 藤 昭 光

技術開発課長 菅 原 豊 明

電話 022-791-2114